

3月定例会

歳出の主な質疑

○ 議会定例会本会議音声配信のアクセス数は。

○ 4月から12月まで合計で983件。

○ バス路線確保対策費増額の内容は。

○ 乗降客の利便性向上のためICカード導入を検討している。

○ 公共施設等管理計画は予算をかけ過ぎでは。

○ 今回は、公共施設の個別計画を、2年間約1500万円を予定している。専門性を持った業者にしっかりとした計画を立てていた。

○ 社会福祉協議会補助金の減額は。

○ 敬老会終了と事務所移転完了による関係費用約300万円を減額した。

○ キウイフルーツの特産化に向けた事業とは。

○ 西平地区で、モデル圃場の整備、苗木の購入等約240万円程度を見込んでいる。

○ パンフレット・各種案内その他多言語化の計画は。多言語化は未達成で、

大きな課題。至急検討し、対応していきたい。

○ 体育センタートレーニングルーム機器の更新計画とは。

○ トレーニングルームには、有酸素系と筋力系がある。3年計画で消耗度の高いものから更新する。

○ 小学校における要保護及び要保護の人数は。

○ 要保護4人、準要保護54人を予定。単価も改正によりアップした。

○ 小倉城跡の整備事業の進捗状況は。

○ 現在用地買収が終わって基本構想、基本計画をこれから作る。進捗状況は4割位の状況。

○ 第二庁舎など防犯カメラ設置工事、活き生き活動センター等の防犯カメラによる個人情報を守られるか。

○ 犯罪や、トラブルが生じたときに確認するために使用する。基本的にそれ以外には使用しない。

平成31年度 特別会計・事業会計予算

国民健康保険特別会計

15億3766万円

○主な歳入

国民健康保険税

2億4434万円

県補助金 普通交付金

11億8382万円

県補助金 特別交付金

3410万円

○主な歳出

保険給付費

11億8952万円

後期高齢者医療特別会計

1億4326万円

○主な歳入

後期高齢者医療保険料

1億795万円

一般会計繰入金

3400万円

○主な歳出

後期高齢者医療広域連合納付金

1億4033万円

介護保険特別会計

11億8006万円

○主な歳入

介護保険料

2億7857万円

国庫支出金

2億4826万円

支払基金交付金

3億1272万円

○主な歳出

保険給付費

11億3391万円

浄化槽設置管理事業特別会計

1億8172万円

○主な歳入

事業収入

5255万円

国庫支出金

3755万円

一般会計繰入金

4267万円

○主な歳出

施設管理費

4927万円

施設整備費

8311万円

○主な歳入

基金繰入金

1520万円

返還金

1393万円

○主な歳出

基金積立金

1393万円

奨学資金貸付金

1520万円

水道事業会計

収益的収入

3億2888万円

収益的支出

3億2180万円

資本的収入

2720万円

資本的支出

1億6828万円

○ 予算規模が前年度と比較して約4971万円減額だが主な原因は。

○ 和田受水場の更新工事等が減ったため。

○ 石綿セメント管の更新事業はいつまでかかるのか。

○ 残りは約1.2km。計画は立てているが完了は未定。

○ 健康診査は自己負担なしとし、受診率の向上を。

○ 自己負担は現在800円。県全体で無料化を進めようという動きがある。

○ 関口茂八奨学事業特別会計 2913万円

3月定例会

平成30年度 一般会計補正予算

一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6932万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ55億672万円とする。

○主な補正

総務費

1億2787万円増
 民生費 5632万円減
 土木費 1904万円増
 教育費 1295万円減

○ 小学校就学援助事業60万円減、中学校就学援助事業69万円減について。
 ○ 小学校では準要保護が65人と見込んでいたが51人という実績になり、差額60万円が発生した。
 ○ 中学校では要保1人、準要保護3人減のため、差額分69万円発生した。
 ○ 共同調理場管理運営事業の中で、臨時職員の118万円減額について。
 ○ 8人運営体制だが2人足りず6人で行っている。
 ○ 有害鳥獣対策事業で63万円増額している。

平成30年度 特別会計等補正予算

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3205万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ16億1198万円とする。

○主な補正

保険給付費

3398万円増

○ 生活習慣病重病化予防対策事業の国保連合会負担金116万円減額の要因は。
 ○ 糖尿病などにより人工透析等になる恐れのある方の人数が当初予定していた人数より少なかったため。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ445万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億3209万円とする。

○主な補正

徴収費 33万円減

後期高齢者医療広域連合

納付金

412万円減

○ 徴収費が33万円減額となった根拠は。
 ○ 通知書等の印刷や封筒などの残を積み上げたものと、通信費が大きく残ったため。

○ 介護保険特別会計補正予算(第2号)
 歳入歳出予算の総額からそれぞれ6394万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ11億2242万円とする。

○主な補正

保険給付費

8700万円減

○ 浄化槽設置管理事業特別会計補正予算(第3号)
 歳入歳出予算の総額からそれぞれ4000万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億3692万円とする。

関口茂八奨学事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ267万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2891万円とする。

○主な補正

施設管理費

782万円減

○ 施設管理費
 3170万円減

○ 返還金収入 267万円増
 ○ 過去に不納欠損はあったのか。
 ○ 行政処分等の対象ではないので、不納欠損処分は行っていない。